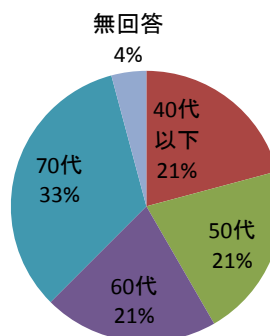


訓練終了後に開催した、「声かけ訓練報告会」に参加した方に対して実施しアンケート調査をまとめたものです。

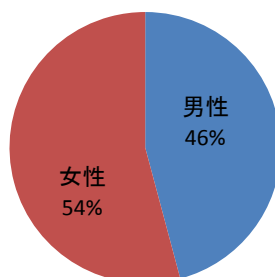
1 年齢

40代以下	5
50代	5
60代	5
70代	8
80代以上	
無回答	1



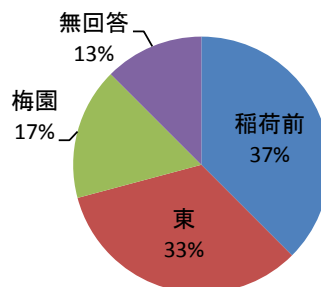
2 性別

男性	11
女性	13



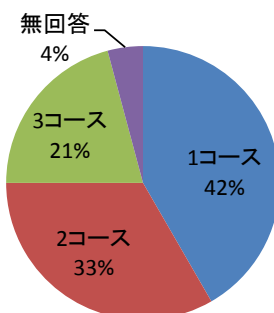
3 お住まいの区会

稲荷前	9
東	8
梅園	4
無回答	3



4 本日の地域での声かけ訓練に参加しましたか

はい	21
いいえ	2
無回答	1

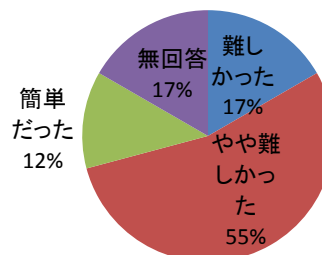


5 何コースでしたか

1コース	10
2コース	8
3コース	5
無回答	1

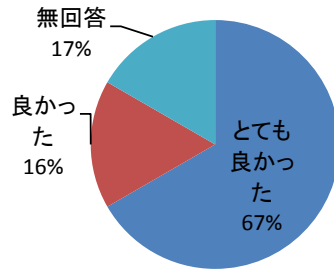
6 仮想の徘徊者への声かけは難しかったですか

難しかった	4
やや難しかった	13
簡単だった	3
無回答	4



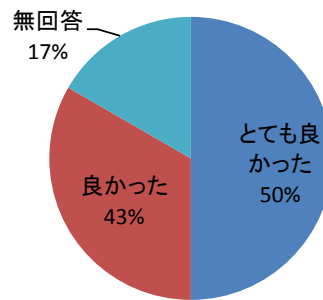
7 仮想の徘徊者の対応はいかがでしたか

とても良かった	16
良かった	4
あまり良くなかった	
良くなかった	
無回答	4



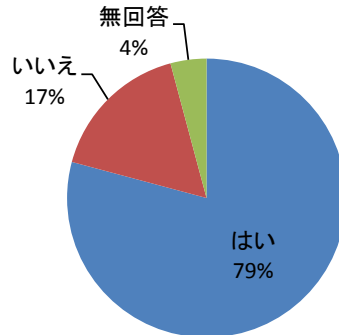
8 観察者の対応はいかがでしたか

とても良かった	12
良かった	8
あまり良くなかった	
良くなかった	
無回答	4



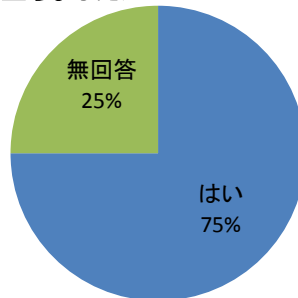
9 東小学校区で実施された認知症サポーター養成講座に参加しましたか

はい	19
いいえ	4
無回答	1



10 声かけ訓練に認知症サポーター養成講座は役に立ちましたか

はい	18
いいえ	
無回答	6



①役に立ったのはどのようなことですか

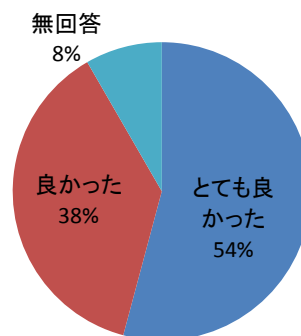
一人ずつ、前からゆっくり声をかけること。
目線とか、声かけの方法とか。
声のかけ方(正面から、等)
「認知症とは」を伺っていたので、なんとなく対応ができましたが、次の言葉に詰まりました。
声かけにおける注意点を予め知ることができた。
声をかける訓練ができたので、本当に認知症の人と出会った時、勇気を持って声をかけられる。
対応での声かけの内容や態度。
認知症の行動特性、気持ちなどが少し分かるようになった。
徘徊者の前から声をかけることや、自尊心を尊重することを事前に教えていただいていたので、声はかけやすかった。
認知症の方の現状が分かった。
上手くはできなかったが、いろいろ教えていただいていたので、落ち着いて声かけができたように思う。
認知症者への対応がよく分かった。
目線、声のかけ方。
講座で習ったはずのことが、実際にはできなかったこと(自己紹介)など、今後忘れないようにと思った。
基本からいろいろ知ることができました。
徘徊者への対応訓練に参加できたこと。

②今後お住まいの地域でどのような対応をしようと思いますか

日頃から、行きかう人々と声をかけあう。
認知症かどうかではなく、誰にでも声かけ、挨拶をしようと思います。
声かけを意識しようと思った。
勇気を持って声かけてみようと思います。
挨拶は大事なことと思い直しました。はじめの一步は挨拶から始まるので、声かけしようと思いました。
おせっかいと思われるでも、声かけをしようと思います。
訓練で持った気持ちを、持ち続ける努力をする。
まずは声かけをしようと思った。
まずは自警団の枠組みで可能な対応を考えたい。
もっと声かけしやすい地域を作りたいです。
徘徊者(高齢者)のみならず、子ども、親子連れを見かけたら、挨拶くらいは交わしあえる地域でありたいと思う。
見かけたら声をかけようと思う。
躊躇せずに声をかけたいと思う。
特に考えていない。
色々対応の仕方を参考にしたいと思います。
人とすれ違った時、無視せずに挨拶しようと思う。
全戸配布のチラシの割には、関心の無い方、知らなかった方が多いのはさびしい思いでした。今後もどのように関心を持ってもらうのが良いのかです。
徘徊者の把握。

11 報告会はいかがでしたか

とても良かった	13
良かった	9
あまり良くなかった	
良くなかった	
無回答	2



12 内容でどこが良かったですか

結論として、認知症の人にやさしい＝みんなにやさしい街。
いろんな報告が聞けて、共有できて、安心できた。
前回講座を受けていなかったが、まとめとして説明してくれたので、今後自分がどうすれば良いか理解できた。
声かけする時の難しさや課題、対応等を共有できたこと。
みなさんのケースを聞くことができたこと。
他の方の感想がとても参考になった。
事例の紹介があった。
多様な対応の仕方が参考になった。
認知症が身近に感じられた。
いろいろな体験を本音で話をされたのがよかった。
認知症に対する接し方が色々勉強になりました。

13 その他、感想等

一連の講座や訓練を通して、周りの方への目配りができるようになりました。お店のレジで、まごまごしている方がいました。店員さんがとても優しく接していました。私も、そっと寄り添えるように気を配りたいと思いました。
何でもやってみる、参加してみるってすごく大事ななあと感じた。
一番困っているのは認知症の方だと、再認識した。
住みなれた地域で、みんなが安心して暮らしていけるようにしていきたい。
地縁、血縁はないけれど、稲荷前で住んでよかったといえる街になる第一歩として、訓練がよい方向性になったと思う。まずは、歩きやすい街にするためにやっといこう…と。
どのように対応すれば良いのか分からず不安だったが、一人一人感想を聞いて不安を共有することにより、「自分だけじゃない」と安心することができた。その上で、どうすれば良いのかお話を聞いたので、自分の中で受け入れやすかった。少子高齢化が進んでいる今、子どもにもお年寄りにも挨拶をし、声をかけ、少しでも顔見知りの人をつくっていきたいと思った。
暑い中、訓練をやっていただきありがとうございます。勉強になりました。
地域のつながりの大切さを改めて思いました。
具体的な声かけの仕方や、警察の話が聞けてよかったです。準備や実施、ご苦労様でした。ありがとうございました。
桜地区の人と話げできた。
見守り合う地域は、認知症の方のためでなく、子どもや一般人にも必要かと。
声かけして、どこまで世話をするのがよいかを知っておくとよい。例えば交番とか。
このようなイベントに、もっと住民の関心が増すような工夫を考えたい。
もっと人通りの多い場所で行うのが有効かも。公園、遊歩道など。
この行事の周知のために、集合住宅、商業施設などにチラシ張りを願ったが、OKをもらえることの方が少なかった。また、張り出したのもA3サイズだったので、小さかったような気がした。今後の他の地域で貼ることがあったら、大きなものを用意できたら尚良いかと思う。
徘徊見守り人を設ける。

《追加資料》

①声かけ訓練参加者数 92名

1コース 35名(男性 13名 女性 22名 内子ども 5名)

2コース 15名(男性 6名 女性 9名 内子ども 1名)

3コース 42名(男性 10名 女性 32名 内子ども 8名)

②関係者等 50名

東小学校区関係者、住民 29名

キャラバン・メイト 5名

社会福祉協議会 2名

地域包括支援課 9名

見学者：藤原健太先生、小室次長、ACCS 1名